公民館報
こすど

発行所
小須戸町公民館
新潟県中蒲原郡小須戸町
印刷発行編輯人　矢部壽三郎

三校統合成るか
全町の協力を要望

新保校の改築命令をめぐつていがき出された、小須戸、横水、新保三校統合問題はその後一体どうなつたのであろうか。町としては大きな課題だけに全町民の注視の的となつている。何しろ大きな財政と相当の利害関係を伴うので、町当局としても慎重を期して綿密な計画をたて、統合態勢を着々進めているが、この際全町民の協力を要望している。つぎにその計画の大要をのぞいて見よう。

三校統合の場合

学年別	1	2	3	4	5	6	計
兒童數	214	133	173	195	190	186	1091
職員數	4	3	3	4	3	3	20
外							4

この表により現在職員33名が9名の減となり、給料手当、地域給等で1.178.415円の減となり外に、日直宿直料156.000円が減されて 合計1.360.415円が減になる。

更にこれを予算の上で検討すれば

廿八年現予算

職員給、諸手当、旅費、賃金、消耗品費、食糧費、燃料費、印刷製本費、光熱水費、通信運搬費、借料及損料、修繕費、備品費、保険料、負担金交付金、営繕費等各校の合計は

小須戸校　一、一五三、三二一円
新保校　六一四、六六三円
横水校　六二一、一六二円

となり

新保横水二校統合の場合　八一一、三三二円
小須戸新保横水三校を統合した場合は　一、三一四、二五〇円

二校統合した場合は推定　四三三、八九三円の節約となり更に三校統合の場合には

現予算三校で　二、三八八、五五七円
であるが
一、三一四、二五〇円
の推定予算で実に
一、〇七四、三〇七円
の節約予算となり

学校建築三年計画は

支出部
廿八年度
建築費　八、四〇五、〇〇〇円
整地費　二五〇、〇〇〇円
廿九年度
建築費　二二、七四〇、〇〇〇円
卅年度
建築費　九、八八五、〇〇〇円
買収費　九〇〇、〇〇〇円
三年間の事務費　三五〇、〇〇〇円
合計　四一、〇三〇、〇〇〇円

財源部
廿八年度
補助　七九五、〇〇〇円
起債　四、〇〇〇、〇〇〇円
その他　三、六一〇、〇〇〇円
廿九年度
補助　一、八〇〇、〇〇〇円
起債　一五、〇〇〇、〇〇〇円
その他　五、九四〇、〇〇〇円
卅年度
起債　六、五〇〇、〇〇〇円
その他　三、三八五、〇〇〇円
合計　四一、〇三〇、〇〇〇円
となる

その他委しいことは役場へ問合わされたい。

人命救助二題
竹和、野崎両氏

（その一）小向、竹和清三郎氏は七月六日、部落わきを流れる用水堀に附近の子供が転落しまさに溺れようとした処を肋骨に一ケ月の打撲傷を負いながらも勇敢にその子供を救助し、知事から表彰された。

〃　〃

（その二）小向、野崎春作氏は六月六日同じ部落わきの用水堀で溺れようとした附近の子供を、着衣のまゝとび込んで尊い人命を救助しこの程県知事より表彰された。

赤い羽の募金
残り 8.000円

助けあい運動、赤い羽の共同募金もいよ／＼大詰になつた。

今年の本町目標は一〇七、九九六円で募金成績はつぎのようで町民皆さんの理解と絶大な援助によつて残すところ約八千円となり、町当局でも深甚な謝意を表している。

本年度目標額　一〇七、九九六円

募金成績
お年玉はがき還元金　二四、一七九円
戸別募金　三〇、六七〇円
興行募金　四〇、六三三円
街頭募金　三、二七〇円
寄附　一、一五〇円
その他　一七〇円
合計　一〇〇、〇二七円
残額　七、九六九円

明年度年賀葉書
目標と計画

お年玉はがきも年々利用度を増してきたが、明廿九年度売捌計画はつぎのようである。

1 中蒲原郡目標数　五五九、四〇〇枚
2 小須戸町目標数　四五、二〇〇枚
3 売捌期日　廿八年十一月十五日　廿九年一月十日まで
4 抽籤期　廿九年一月十五日
5 戸数人口割目標枚数
小須戸町　戸数　一、九二一戸　人口　一一、四三一名
一戸当　二三枚
一人当　四枚
町部　一戸当　一〇枚
一人当　三枚
在部　一戸当　九枚
一人当　一枚
大口利用者　一〇〇戸一五〇〇枚

火の用心
火災豫防について
子供の火遊び　火の元に注意

十月廿三日より一週間県下一斉に火災予防運動が展開されているが、最近全国における火災は逐年増加の一途を辿つている折柄、消防態勢の確立とともに一般家庭における自主的火災予防の徹底が強く要望されるのであります。

本町においては幸にして大火災に至らなかつたが、今年においてすでに七件の火災が発生したことは只に火元のみならず町民全般の災害といわねばなりません。

この際特に町民皆さんに御協力をや願いしたいことは

1. 家庭における自主的火災予防の徹底
大火災はおもに深夜において発生する場合が多いので、就寝前に必ず火の元、消壺などをよく調べること。
2. 子供の火遊びについて、特によく注意すること。
3. 山に親しむ季節であるので山林火災にも充分注意すること。
4. 燃えやすい危険物またはその原材料等の貯蔵取扱いに注意すること。
5. 不幸にして火災のおきた場合、または発見した場合は速かに消防團か近所に応援を求めること。

◎消防自動車庫は　電話七七番

小須戸町長　長谷川鉄太郎
小須戸消防團長　保科清作

大臣賞と優勝に輝く
小須戸町書道

先般白根町で開催された北越書道大会に文部大臣賞　小須戸中学　岡　壽一　が輝く大臣賞を獲得した。更に新潟市で開催された県下書道大会には團体優賞した外、日頃の精進が報いられ、つぎの諸君が美事に入賞した。

團体賞　小学の部
小須戸校　三二点
白根校　一四点
今町校　一三点
臼井校　一二点
新津校　一〇点
で小須戸校が團体優賞した。

個人賞
知事賞　小須戸　大塚小夜子
県教委賞　亀田　渡辺昌彌
市長賞　新津　竹田信弘
日報賞　今町　星野浩
北越書道会賞　臼井　大竹壽雄
で大塚小夜子さんが知事賞を獲得

六年生
金賞　森内紀一
銀賞　石井力
　大倉幸治
　五十田知子
銅賞　保科俊輔

五年生
銀賞　今井幸子
　石附昭子
銅賞　笠原レイ子
　淺見敬三
　中村泰子

四年生
銀賞　藤田芳子
　岡茂弘
銅賞　高山武茂
　藤井昇
　梅津トシ
　佐藤清
　佐藤八重子

三年生
銀賞　吉田忠弘

一二年生
金賞　井上　子

選挙人名簿の縦覧
十一月五日から十五日間

九月十五日現在により提出された選挙資格申告書を基礎として調製した基本選挙人名簿（昭和二十八年一二月廿日から昭和二十九年一二月一九日まで有効）は十一月五日から十五日間、役場において縦覧に供する外、その関係写を各町内部落に回覧しますから、脱漏または誤載があつた場合は縦覧期間内に選挙管理委員会に対し文書または口頭で異議、訂正の申立をして下さい。

文化祭記念
優良商品特賣會

期日　11月2日 3日 兩日
会場　公民館ホール

拾数商店が参加優良商品を市價より数割安く特売する。

◎◎菊花会◎◎
会員を募る

近年菊花の栽培が盛んになつて黄菊、白菊とその美を競つている。小須戸町菊花同好会では広く同好の士を求め共に研究しようと会員を募集している。

会費入会年度二〇〇円
次年度から一〇〇円

会員は共に栽培法等を研究する外、相互に菊苗の交換、時價数百円の苗も無料に分讓し、鉢類等の共同購入するなど、いろ／＼の便宜をはかることになつている。

申込は現会員誰れにでも申込めば懇切に手引をする由であるから、この際同好の士は至急に入会されたい。

文化祭記念
大講演会

公民館では文化祭を記念して來る四日頃その道の権威者である文部省文化財保護委員の西村新次氏を招いて大講演会を開催する事になつた。期日その他くわしいことはポスター、廻覧板等によつてお知せするから、多数の聴講を希望している。

お彼岸句会
小須戸町俳句同好会

種茄子を貰う約束畑中　ひさ
鍋の火を見つゝ朝餉の菜をまねく　冬川
秋袷病後の脈の乱れなし　向日葵
秋果並ぶ子等の眼は月よりそれて　まつし
秋雲や君日屋のすなかづく　泰浪
水澄むや蝶がひら／＼西陽中　越樓
秋炎やさびしくなりし秋茄子　氷浪
菜間引きや五畝程で捲みにけり　溪灯
砂少しつきたる雨の菜を間引く　山葵
間引菜に真白き豆腐入れて汁　流水

◇共同募金◇
女流浪曲大会

期日　11月8日　午後六時半
会場　小須戸小学校

村山県議を囲む会

只見川問題
県立病院誘致
町小学校統合問題

期日、会場　後日決定次第ポスター回覧板で発表

農業欄
水田裏作
菜種の栽培

整地＝必ず好天の続いた日を選び石灰を全面撤布し堆肥を畦下に常るところに施して耕起しながら作畦する。雨天の日に泥状の土で行っては失敗し易い。畦巾畦高は排水の良否によつて決定するが、良い処の標準は畦巾五尺畦上巾三・五尺畦高八寸（二條植）とし、排水不良化に伴い巾を狭くし一條植とする。整地を行うには耕耘機が最も便利であるが土の乾燥が良くなければ出来ないし、辛うじてやれる程度では直ぐ土が緊密になつて生育がよくない。此の場合畦巾を狭くするか又は畜力に変更する方が安全である。整地完了後田の周囲の溝だけは稍深目に掘り、排水溝に連絡しておけば畦間の滞水もなく畦高も余り高くせずに済み、作業能率も挙がる。

肥料＝元肥、窒素は定植期の早晩と関係あるが十月中旬頃定植する場合は、硫安三〆位、定植期の晩れるに従い減量し春期追肥に廻す方が経済的である。加里は塩化加里にして二〆、燐酸は熔燐にして六〆位を普通の収穫を得ようとする場合は元肥に施すが、加里は窒素と同様植付期と關連し十月末以後に植付するものは元肥に施さず（苗床に多目に施用）春肥に廻す方がよいようである。施肥法は株元近く施す。

定植期＝小さい苗は晩植に不適当であり、大きな充実した苗でも少くとも寒期前までに活着して植傷みを回復させておくが大切である。本県の裏作菜種は遅くとも十月末までに終つておくが安全である。苗床にあまり混み過ぎて徒長しない内に労力の暇を見はからつて大きな苗を逐次本圃の一方から植え、残つた小苗で更に大きくして、次に暇を見はからつて本圃の残りの部分に定植するのも、都合のよい方法である。

定植密度＝苗の大きさ、本圃の肥沃状態、定植期等によつて異るが強健で大苗豊沃地早植であれば、そうでない場合に比べて疎植する。しかし疎植しすぎると土地利用度が低下し収量が少くなる。農林一六号の普及良苗で概略反当三、三〇〇本（株間約九寸）で、苗の良否によつて最低二、七〇〇本、最高五、四〇〇本位を標準とする。ミチノクナタネ（農林二〇号）は十六号より一割位植付本数を増す。

植え方＝苗採りは根を傷めない様に出來るだけ根を多くつけて土を抱かせてとるがよい。そのため移植ゴテを使用すると便利である。苗採りは定植直前にすること、苗採り定植は乾天強風降雨時又は降雨直後は避けた方がよい。このようの日は植傷みが多くなつたり労力を多く費し、定植の際土が壁のようにベタついて土壌が締つて定植後根が酸素不足で伸長が悪くなる。

定植は予め掘つておいた植穴に植えるのであるが、浅植にするがよい。晩植や排水の悪い所程浅植とし降雨直後等で土が濡れている際は一応穴に入れておいて晴天乾土を見はからつて軽く土を寄せる程度にする。苗が倒れ易いからと云つて根際を強く圧することは根を非常に傷めると同時に通氣を悪くするから絶対に避けなければならない。

腰高苗は畦の方向に平行に横たえて浅く植える。田土は耕起して畦を作ると青くなつた還元土が出て來て、これが根にくつくと根の伸長が阻害され、伸びないから心土を畦の上部に上げることはよくない。

定植を終れば畦上に（少ない場合は株附近だけで充分）敷藁は雨雪水で根本の土が堅くなつたり根元が洗われたり寒害や旱害を防ぐに役立つ。

（改良普及事務所松井）

小樽
第一
第一ゴム
強くはきよいゴム靴　特約店
横山履物店
小須戸町横川

ヒドリ号
無期限　保証付
総ベアリング　防水装置
坂井輪店
電170

ナショナル
ラジオ　電気具
化粧品　食料品
濱屋
二番町　電112

第八回文化祭

各種団体支援

絢爛繪巻を展開

迎えてここに八とせ、第八回文化祭は菊花薫る佳き日、二、三の両日第一会場を中学校に、第二会場は公民館で、第三会場を小学校として今年も華々しく豪華絵巻をくりひろげることになつた。今年は予算その他の事情によつて中止の悲運にあつたところ、全町民の盛りあがる要望にこたい、町当局の深い理解と農協、商工会各、学校、体協、婦人会青年團その他各種團体の絶大なる支援によつて、目出度く第八回文化祭開催の運びとなつたもので、昨年よりはささやかなりといいども全町で盛り上げたホントウに真心のこもつた催しである。

それではこれから各会場を御案内いたしませう。

第一会場（中学校）

入つた大講堂は三日午後一時から授賞式が挙行され、賞品賞状の授与があるが、一部は二三両日共優良商品の陳列展示がある。（後校舎階上から）

(1)中学生徒の作品

(2)中学生徒の作品

(3)写眞展で麗光会の一年の力作が発表される

(4)農業資料展　いろ〳〵の農業参考資料が展示される

(5)定時制高校の部屋

高校生の作品その他がかざられ

(6)生花の部屋

ここでは各流派の生花が陳列される

（前校舎階下）

(7)……(10)農産品展

農家の労作が陳列

(11)(12)商工品展

各工場その他の工業作品や優良商品のいろいろ展示される。

（前校舎階上）

(13)……(16)中学校作品展

（前校舎階下）

(17)喫茶、食堂、婦人会

第一会場（中学校）

生花	定校作品	農業資料	写眞展	中学作品	中学作品	階上	運動場 授賞式（三日一時） 商品陳列
商工品	商工品	農産品	農産品	農産品	農産品	階下	
			中学作品	中学作品	中学作品	階上	
					喫茶	階下	

第二会場（公民館）

優良商品
即賣会

小鳥
盆栽
階上

第二会場（公民館）

(1)（階下ホール）優良商品特売が行われ

(2)（階上ホール）盆栽と小鳥の展覧会が催される。

文化祭体育行事

庭球大会	十月卅一日
近郷剣道大会	十一月三日
柔道大会	十一月三日
野球大会	十一月三日
少年　町内對抗　職場決勝	
卓球大会	十一月三日
駅傳競走	十一日三日
籠球大会	未定

第三会場（小学校）

大講堂では近郷剣道大会柔道大会が催され、武道の選手達が存分の活躍している。（上手階上）

(1)喫茶、食堂　婦人会

(2)余技作品展　一般

（階上左手）

(3)横川の部屋

横川部落が誇る数々の品物が出展

(4)(5)(6)(7)(8)

小須戸兒童の力作がかざられる

（階下職員室隣）

(9)町勢一覧室

町の色々な資材が出品されている

（階下左手）

(10)(11)菊花展

大天狗、小天狗の力作ぞろい

（もどつて右手へ）

(12)織物展

名産織物のかず〳〵

(13)(14)矢代田校作品

横水、新保校学童の作品がぎつしりと展べひろげられる

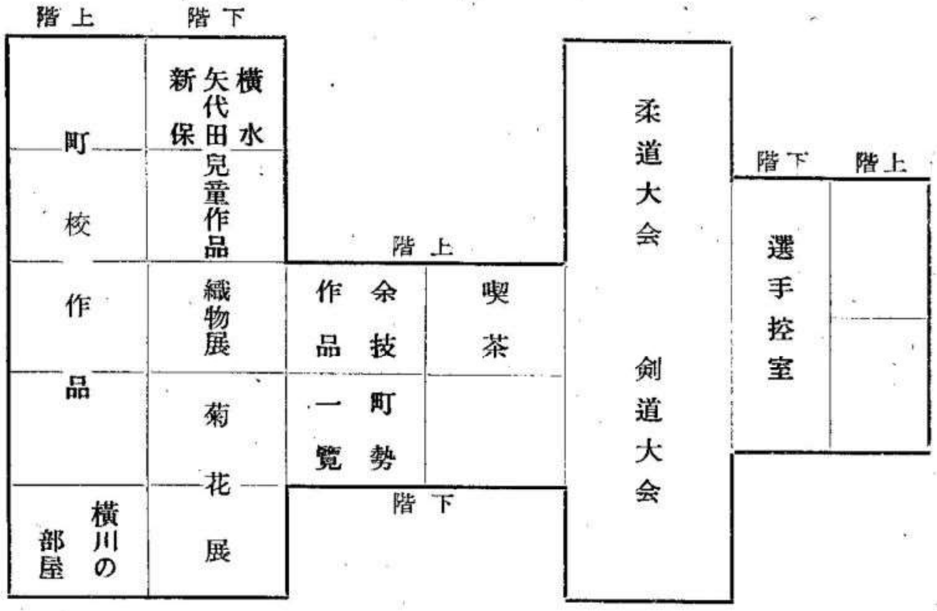
以上で大体一巡したが、お見落しのないように心ゆくまで御ゆつくり。

共同募金

映画会

2日　矢代田校　新保校
3日　小須戸校　横水校

第三会場（小學校）



町民運動会の御禮

本木七郎

小須戸分館主催、青年團婦人会後援の町民運動会は、全町民挙げての熱烈なる協力により、去月十一日歓呼の裡に盛大に挙行できたことは、精神的にも物質的にもかつて見られない町民の熱意が晴天をもたらし、賞品となり多額の寄附金となつて表われた。それにつけても当局の不馴れによつて種々反省させられる事柄の、りに多かつたことは非常に遺憾であつた。しかし來年こそは周到な注意と計画とによつて全町民一ケ年中の最大親和事業にまで発展させようと努力しなければならんと思う。何卒一層の御協力と御鞭韃をお願いする次第である。

会計報告

収入の部	
寄附金	一一、三六〇円
支出の部	
支出金	九、八八六円
支出内訳	
賞品代	三、六一〇円
接待費	二、六〇〇円
会場費	一、五二〇円
煙火代	九〇〇円
慰労費	五〇〇円
雑費	七六七円
計	九、八八六円
差引残金	一、四七四円

神道県大会に優勝 木村氏の譽

水田部落、木村敬三郎氏は本町連合青年團長として活躍中であるが、さき程新潟市で開催された神宮奉遷記念神道講演県大会に中蒲代表として参加県下市郡代表を尻目に悠々優勝、神社庁本部賞県神社庁から賞品賞状が授与された。

塩買い

丘玄二

Kは終戦の頃町の小さな木工場の事務員と言うよりもむしろ職人のテコとしてさゝやかな給料を貰つて不遇な生活をしていた。今更N会社を簡単にやめて郷里に引き上げた軽卒を後悔すると共に数人の家族を擁している責任ある自分の姿を不甲斐なく思つた。漸く糊口を凌ぐ体たら〳〵で何かと品物を売つて所謂売り食いの味気なき生活であつた。無い〳〵ずくしの生活には馴れ切つていたが、塩が無いには一番閉口した。味噌や醤油はぜい沢品に属し、当時のK一家は何でも塩味でがまんをした。最低生活を支える塩が無いとは何たる情無い事か。我等に塩を与えよとは、何というつましくして悲痛なる叫びであろうか。

一つまみの塩も無くなつた朝、Kは恥を忍んで職場の一人の大工さんから百匁の塩を借りた。薄黒い岩塩であつたが、拝みたい位貴重なものであつた。それから二三日後の事である。近所のTさんから岩船郡へ塩買いに行く状況を聞いて、Kさんも同行を願つた。其の日未明に起きてリュックを背負い、矢代田駅にと急いだ。晴れてはいたが十月の朝風は頸のあたりはつめたかつた。

途中から同行の士らしい者が、どし〳〵乗り込む。下車する府屋駅とは山形縣境に近い海浜の小駅であるがその駅の手前でも二十人、三十人と塩買いの男女が下車する。「見えるでしょう、あの小屋がみんな塩焼小屋です」と砂浜に立ち並ぶ小さな煙突を指さす。「府屋は七、八十の釜があつて此の辺では一番大きいですね。駅へ着くとどつと下車して小屋へ殺到するというわけで、実に激烈な自由競争ですよ」とTさんは頻りにKの闘争心を鼓舞する。

やがて汽車が府屋駅に到着するや否や、どつとばかりに塩買一座百余名が血眼になつて飛び下りる。何と言つても女が多い。殺気横溢三々五々言葉も荒々しく呼ばわりながら蜘蛛の子を散らす様に散逸してしまつた。Kも何くそ負けるものかと一群の後について海辺に出る。散在する小さな小屋の密集部落を右往左往あの小屋この小屋からリュックを重そうに背負つて出て來る者、不首尾な顔をして出て來る者、小屋から小屋へと出たり入つたりぞろ〳〵女が動いている。Kも勇を鼓して一軒の小屋へ飛び込む。「塩を売つてくれませんか」といんぎんに頼む。「ありませんね」とにべない返事、隣へ行く、又隣へ行く、四、五軒も歩く中に暗胆たる気持になつて今更生存競争の峻厳さが身にしみる。「府屋へ行けば一斗や二斗は買えますよ」といとも簡単に言つたTさんの言葉が恨めしい。やつとの思いで二升買つて大きなリュックの底にかすかな重みを感じる。信頼をこめて待つている妻に対しても男の顔が立たないと思つて更に五、六軒根気よく廻る。最后の小屋で「今日は無いが、二三日すれば出來るから、取りに來なさい、先約が沢山あるんでね」と……あゝ賤めたり。みんな約束手形かとKは愁眉を開くと同時に「では是非頼みます、いつ参りましようか」と堅く約束して、差当り一斗分の手金を打つて引き上げた。

約束の日に再び出かけた。併し此の混乱の時代に、而も初対面の浜辺の約束に信頼をかける事は無理とは知りながら首尾よかれかしと念じざるを得ない。塩焼きの主人と挨拶中にひよこりは入つて來た男こそ、Kの先輩M氏である。「やあ」「やあ」と奇遇に驚き一部始終を聞いて破顔一笑「私も学校を退職して今は塩焼きさ、伜が兵隊から帰えつて來て何もする事がないので、中尉殿から当分塩焼きをしてもらつてね。まあ〳〵家へ來てゆつくりくつろいでくれ給え」とKを促す。最上の塩を背負つて晴れやかに帰途に就いた。せち辛い人生にもこんな幸運があるから世の中はやつぱり面白いと車中のKは感慨に耽つた。

ゴムとビニールは
専門の **田中雨具店** で
小須戸町三番町
電話七番